

パネルディスカッション1:
中国と日本の新しい競争・協調関係
／ものづくりの現場から

医療事業における中国研究開発の取り組み

2011年 3月 2日
東芝メディカルシステムズ(株)
取締役 上席常務 朝比奈 宏



目次

1. 事業紹介
2. 中国の研究開発事業を始めるきっかけ
3. 研究開発事業の立上げから拡大へ
4. 直面している課題と今後の取り組み
5. 最後に

1. 事業紹介

東芝メディカルシステムズ株式会社の事業概況は、以下のホームページをご覧ください。

<http://www.toshiba-medical.co.jp>

The screenshot shows the homepage of Toshiba Medical Systems Corporation. At the top left is the TOSHIBA logo with the tagline "Leading Innovation >>>". To the right are links for "お問い合わせ" (Contact Us), "English", and "サイトマップ" (Site Map). Below this is the company name "東芝メディカルシステムズ株式会社" and a search bar with "検索" and "使い方" buttons. A navigation menu includes "商品情報" (Product Information), "サービス" (Services), "ライブラリー" (Library), "イベント" (Events), and "企業情報" (Company Information). The main banner features an Aquilion CT scanner with the text "Aquilion™、それこそが東芝が歩み続けた技術の軌跡" and a "PRIME Aquilion™" logo. Below the banner are three main sections: "商品ラインナップ" (Product Lineup) with a sub-image of medical equipment, "診療所ソリューション" (Clinic Solutions) with a sub-image of a computer interface, and "メールマガジン登録" (Email Magazine Registration) for "TOSHIBA epicus mail™". A "採用情報" (Recruiting Information) section for "2012" is also visible.

2. 中国の研究開発事業を始めるきっかけ

1. 利益ある持続的成長のチャレンジ

- グローバルな競争激化

2. 物作りの国際標準への適合

- 各国の法律に組み込まれたISO13485
- 業務プロセスの標準化、医療特有の大量な文書化

3. 開発リードタイムの短縮

- 技術ドリブンの大規模開発からターゲットドリブンの
パラレル開発への変革

4. NIH症候群からの脱却

- グローバルリソースの活用

3. 研究開発事業の立上げから拡大へ

1. 東芝の中国拠点にコバンザメ

- 大連の製造工場に医用開発センターの設立
- 北京の研究開発センターに医用開発部門の増設
- 日本の経験、ノウハウを伝承するペアレント制度

2. 中国ソフトハウスにコバンザメ

- ソフト開発センターの開設

3. グローバル研究開発チームとコラボレーション

- 画像処理アルゴリズム研究

4. 直面している課題と今後の取り組み

1. 課題：優秀な人財は多いが流動率は高い
 - 若い技術者の職業意識
 - ◆ 自分に頼る意識が強く、企業への依存感は薄い。
 - ◆ 個人の成長に最適な環境へ移動する。
 - 就職市場の変化
 - ◆ 中国国内企業の成長により、就職人気度も上昇
 - ◆ 欧米系企業における最先端の研究開発への参加に魅力
2. 今後の取組み：魅力ある環境を提供していく
 - 企業価値の向上
 - 個人の成長機会の提供
 - ◆ 事業推進、商品企画、医療研究への参画
 - 医療機器の使命を認識する機会の提供

若い技術者へ伝えたいメッセージ

1. 医療機器は、最先端の技術、材料を医療へ導入し、人間の命、健康を守ることが使命です。
2. 最先端の技術、材料が創出される市場にて、直接、その分野の研究者と協同で医療機器を開発します。この市場は、日米欧、さらに、中国です。
3. 新しい医療機器を、どのように医療へ適用していくか、先進の医療研究者と協同で研究します。この研究の場は、日米欧、中国、さらに、新興国です。
4. 大きな医療機器の市場は、地産地消を求めていますので、生産も、グローバルに拡大しています。

5. 最後に

65億地球人口の80%以上は高度医療/高度医療機器の存在を知らずに亡くなっています。

世界のより多くの人々に高度医療を届けることを使命とし、グローバルな事業を進めています。

